

1	審議会名	武石地域協議会
2	日時	平成27年1月21日 午後7時00分から午後9時15分まで
3	会場	武石地域自治センター 第1会議室
4	出席者	新井敦子委員、新井徳委員、内山長雄委員、柿蔭勲委員、金子隆博委員、北澤美恵子委員、清住洋子委員、児玉卓文委員、小林裕美委員、斎藤勇一委員、桜井久美子委員、竹内利通委員、中嶋三津子委員、成田英雄委員、伏見貴昭委員、柳沢裕子委員 【欠席委員】4名
5	市側出席者	渋沢地域自治センター長、児玉地域振興課長、聲山市民生活課長兼健康福祉課長、雨宮産業観光課長兼建設課長、滝沢武石上下水道課長、児玉武石教育事務所長、佐藤地域政策係長、青井統括主査、
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成27年2月16日
	作成部局課名	地域振興課地域政策係
協議事項等		
1	開会	(竹内副会長)
2	あいさつ	(清住会長) 本年もどうぞよろしくお願ひします。寒い日が続きますが、気持ち温かく持ちましょう。なお、会議中は携帯電話をマナーモードにさせていただきますようお願い申し上げます。 (渋沢センター長) こんばんは。新しい年を迎えまして本年もどうぞよろしくお願ひいたします。昨年は2月の大雪から始まり、大きな災害がありました。武石は幸いなかったのですが、本年良い年であることを願っています。 今年は、上田市第二次総合計画を策定する年、今年3月6日で合併して丸9年。10年目に入る一つの区切りの年です。地域協議会の皆さんにも御支援いただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。 国でも、まち、ひと、しごと創生という形で地方への仕事をどんどん増やして、人口減の中で地方創生法という法律もできて、上田市もこの今月30日頃予定しているが推進報告を作って、色々な事業をやっていく。そんな形で武石を盛り上げるか。3月頃まで検討お願ひします。 寒い時期ですが今年一年、皆さんと共に職員一同よろしくお願ひいたします。
3	諮問事項	(1) 第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」について ～ 渋沢 武石地域自治センター長から武石地域協議会 清住会長に諮問～ 件名 第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」について 答申期限 平成27年3月27日 金曜日  (事務局) 事前に送付した「第一次上田市総合計画(後期基本計画)地域まちづくり方針検証シート(『検証シート』)」並びに「地域の特性と発展の方向性 素案シート(『素案シート』)」について、協議の上、意見をいただきたい。3月を目途に答申をお願いしたい。
4	協議事項	(1) 第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」について ～ 検証、素案 各シートについて項目ごとに説明～

- (会長) 事務局から各シートの説明をいただいた。事前に目を通してあると思うが、意見、質問があったらお願いしたい。
- (委員) 検証シート の2項目目、わがまち魅力アップ応援事業について、今後の課題・新たな視点等の部分に「経過と結果の検証をする」という文言を入れてほしい。
- (事務局) 入れるようにしたい。
- (委員) 検証シート の2項目目、人間の環境破壊もあり獣害が増えた。必要のない柵は取っ  
ていってはどうか。里山の管理、保全の努力をするという文言も入れてほしい。
- (事務局) 検討したい。
- (委員) 松くい虫の具体的対策は何か。
- (事務局) 伐採駆除、無人ヘリによる空中散布に加えて、路上からの散布を考えている。
- (委員) 検証シート の1項目目、マルタケマークの登録商標の確認はできているか。
- (事務局) 商標化されていないことを確認してある。ブランド化を図るためにマルタケマークを  
検討する。イベント・物産展などでの効果を見て商標化していきたい。
- (委員) マルタケマークの普及とあるが、今は生産者個の名前を出して販売する時代であるので  
いかがなものか。
- (事務局) トマトについては、伝統のマルタケマークを使用してほしいとの声もあるので、引き  
続き検討していきたい。
- (委員) 検証シート の雲渓荘、練馬区ベルデ武石などの宿泊施設への誘客について、武石御柱  
祭、NHK大河ドラマは誘客のチャンスになるのでこの機会を利用して宣伝してほしい。
- (委員) 丸子地域の小中学生のスキー教室を武石番所ヶ原スキー場でぜひやってほしい。
- (事務局) 現在どこでやっているかの確認した上で、検討します。
- (委員) 上田・真田・丸子・武石の観光資源を結びつけた観光事業の展開とは具体的には何か。  
武石と真田氏の関係は薄いので、誘客は難しいと思う。武石地域の樹木が上田城の柱に使  
われているという話もある。それを確認し、表示したらどうか。
- (事務局) 具体的な取組は、現在考えているところである。上田城の柱の表示については検討す  
る。
- (委員) 検証シート の2項目目、レッツチャレンジの活動は今後どうなるか。
- (事務局) 具体的には言えないが、スポーツ協会、スポーツ推進委員の協力を得てやっていく。
- (委員) 茶道教室の先生はみつけてほしい。茶道教室の団体がともしび博物館のイベント等の手  
伝いをいろいろとやってくれる。今後もそうした体制は継続してほしい。
- (事務局) 茶道にもいろいろと流派があるので、地元だけで先生をみつけるのは難しい。教室の  
生徒が教えるのも一つの方策である。現在のお手伝いの体制は継続できるようにしたい。
- (会長) 他に何かありますか。
- (事務局) 素案シートの を へ、 を へ再編成したほうが、内容的にいいと思われるので、  
そのように検討し、次回協議会のときにお示ししたい。
- (会長) 本日出していただいた意見等を受けて、事務局に修正案を作成していただき、次回の協  
議会で再度協議することにしてよろしいか。
- ・ 委員了承
- (事務局) 次回審議いただく修正案は2月上旬にお送りしたい。この他に意見、質問がありまし  
たら、2月4日、水曜日までに事務局をお願いしたい。
- (2) 地域内分権の確立に向けた考え方について(市民参加・協働推進課 北沢課長補佐)
- (北沢補佐) 日頃は武石地域また武石地域協議会へ貢献していただき感謝申し上げます。市民参加  
協働推進課長が本日都合が悪いため、私の方から説明させていただく。
- ～ 1 地域内分権の確立に向けた考え方、2 「地域経営会議」に関する基本的事項について資料に  
基づいて説明 ～
- (会長) 只今、北沢課長補佐からわかりやすく御説明いただいたが、何か質問、意見はありませ  
うか。

- (委員) 地域協議会委員が地域経営会議の構成員になっているが、双方は分けて考えるのか。
- (北沢補佐) 地域協議会は市の組織の一部という位置づけである。地域経営会議は協議会を含めたもっと多くのメンバーで街づくりを考えていこうとするものである。
- (委員) いったん合併はしたものの、またそれぞれの地域で街づくりを考えると、また村の体制に戻るというジレンマを感じる。遠方へ通勤し、家には寝に帰ってくるだけという地域のとのつながりが疎遠になってしまっているような人をも取り込んでいかなければならず、膨大な時間と費用がかかる。今、話がでているのを好機と捉え、機を失わないように進めていかなければならない。
- (北沢補佐) 丸子、神科、豊殿の3カ所に他地域に先んじて地域経営会議が発足する。4月以後、その取組をもお示しするので、参考にさせていただきたい。
- (委員) 地域経営会議についてはわかりにくい部分が多い。資料13頁の丸囲みのような組織となるのか。平成32年には住民自治組織ができる。地域協議会と地域経営会議が併存することになるが、そうすると双方で全く反対の意見が出る可能性がある。地域経営会議の仕事は、非常に荷が重いとを感じる。それをすすめていくには、権限のある地域職員のはりつけや、委員には昼間の会議出席など仕事量に見合った手当も必要となる。私にいわせれば、5年間という期間は長すぎる。来年作ってくれと言われた方が楽である。
- (北沢補佐) 双方からの提言を尊重して実行していかなければならないと考えている。遅くとも平成32年ということで、それ以前に発足する場合にもバックアップを考えていきたい。行政が仕事を住民に一方的におしつけるのではなく、住民とともに街づくりをすすめていく。これから少子高齢化がますます進むが、今のうちのそのための対策を本気で考える必要がある。
- (会長) 他にありますか。
- ・ なし
- (会長) 北沢課長補佐、本日はありがとうございました。

## 5 その他

- (会長) その他について、何かありますか。
- (事務局) 本日、お手元へ上田市わがまち魅力アップ応援事業「平成25年度 事例集」と、わがまち魅力アップ応援事業「平成27年度 募集要項」を配布させていただいた。来月、事業の応募があれば、選考要領を説明したい。

### 次回会議の日程等について

- ・ 協議の結果、第12回は2月18日水曜日、午後7時から午後9時までと決定する。  
場所は、武石地域自治センター2階第1会議室で行う。  
また、第13回は3月18日水曜日、午後7時から午後9時までと決定する。  
場所は、武石地域自治センター2階第1会議室で行う。

## 6 閉会(竹内副会長)